

令和7年度

施 政 方 針

碧南から世界を変える

碧 南 市 長   小 池 友 妃 子

## 始めに

令和7年市議会3月定例会の開催に当たり、令和7年度の施政方針並びに予算の趣旨を申し上げまして、議員各位並びに市民の皆様の御理解、御協力を賜りたいと存じます。

令和6年4月に皆様の温かい御支援をいただき、4月29日に市長に就任して以来、市民の皆様が今まで以上に幸せを感じ、「住んでよかった」「ずっと住み続けたい」と思っただけのまちづくりのために邁進してまいりました。

皆様とのご縁を大切に、市役所内外のイベント・訪問・来訪等で皆様とお話をした数は、令和7年1月末までで700回以上となり、幅広い年齢層の方々と、目指す未来について話し合うことができました。

市民の皆様との対話を重ねる中で感じたことは、自分の想いを伝える姿勢と相手の想いを聴く姿勢、そこから互いの想いを紡ぎ合ったものをカタチにするために自分たちが今できることが何かを考え、前に進めるためにチャレンジしていく姿勢の大切さです。そして、各々が協力し合い、できることを行動に移し、互いに感謝することで、自分も周りも充足感や幸せを感じることができるのだということを改めて感じました。

改めて、碧南の未来を想い、御縁を頂きましたすべての皆様に、心より感謝申し上げます。

昔からよく日本人は「おかげ様」という感謝の言葉、「お互い様」という謙虚さ、やさしさの言葉を挨拶のように口にして、人間関係を良好に保ってきました。私が掲げるスローガン「碧南から日本を変える！」には、このような人の在り方への思いが込められています。「おたがい様」「おかげ様」が自然と聞こえてくる碧南市へと、市民の皆様とともに創り上げてまいりたいと考えております。

市長就任後初めての当初予算編成にあたっては、私が市政運営を進めるにあたり大切にしている「対話するシセイ」、「チャレンジするシセイ」、「幸せを感じるシセイ」の3つの姿勢を大切に感じながら編成を行ったところです。

市議会の皆様、市民の皆様には、今後とも市政運営のお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## **碧南市を取り巻く経済財政環境**

我が国の経済動向でございますが、設備投資の増加や令和6年の春季労使交渉で賃上げ率が33年ぶりの高水準になったこと等により経済状況は緩やかに回復の兆しがありますが、国外では、ロシア・ウクライナ情勢、中東情勢の緊迫化、アメリカの新政権の政策や中国等の海外景気の動向による先行き不透明な状況が続いております。

国内では、物価に負けない賃上げを定着させ、企業収益と消費を拡大していくことが重要であります。

このような状況の中、令和7年度の税制改正大綱において国は、物価上昇局面における税負担の調整及び就業調整対策や老後に向けた資産形成の促進を図るほか、スタートアップ・エコシステムの抜本的強化のための措置を講じ、加えて、グローバル化、地域経済や中小企業の活性化等に係る税制の見直しを盛り込みました。これらの施策が市民の生活や事業活動の活性化につながることを期待するところであります。

## **令和7年度の取組**

令和7年度の行財政運営といたしましては、碧南市の将来像である「新たな力とともに創る 笑顔と元気のみなとまち へきなん」のまちづくりを、次に掲げます3つの重点方針に沿って進めてまいります。

1点目は、「市民とともにつくる災害に強いまちづくり」でございます。

災害被害を最小限に留めるため、主要道路、狭あい道路、橋梁、上下水道等のインフラ整備、空き家対策、学校施設、市営住宅や第2配水場等の公共施設の長寿命化を図り、市民のライフラインを守り、安心・安全で災害に強いまちづくりを目指してまいります。また、市民の防災意識の向上を図るとともに、フェーズフリーの視点で無理なく災害に備える取り組みも推進してまいります。

2点目は、「産業と港を活かしたまちづくり」でございます。

ゼロカーボンシティ宣言に基づき事業者の省エネ、再エネの導入を促進するとともに、衣浦港の脱炭素化に向けた取り組みに協力し、カーボンニュートラ

ルを実現してまいります。

さらに、本市独自の魅力を活かした産業の振興を図るため、工場等の新設や新規創業への支援を行い、安定的な税収と雇用を維持するとともに、北部産業地の基盤整備を進めてまいります。

3点目は、「誰もが笑顔で元気に暮らせる賑わいのあるまちづくり」でございます。

子どもから高齢者まで、障がいの有無や国籍に関わらず、誰一人取り残さない思いやりにあふれたまちづくり推進のため、健康づくりに関する事業、安心して子育てできる保育サービスの提供、介護サービス、外国人窓口の充実等の施策を引き続き実施してまいります。また、市民生活の利便性向上や業務の効率化を図るため、行政手続の電子化を推進してまいります。他にも、賑わいの場の創出を図るため、スケートボードパーク、ビーチコート等を活用した各種全国レベルの大会の誘致や支援等を通し、本市におけるスポーツ・レクリエーション活動を推進してまいります。

## **令和7年度予算編成**

令和7年度当初予算につきましては、市長就任後初めての編成であり、重点政策及び第6次碧南市総合計画に基づき、重要課題であります子育てや防災対策等の事業に重点をおいた予算といたしました。

この結果、一般会計の予算総額は、前年度当初予算額に対し、6.8%増の361億7千万円余となり、碧南市制発足以来過去最大の当初予算総額となるものですが、その主な要因といたしましては、人件費、扶助費等の義務的経費の増加が大きく影響しています。

歳入面におきまして、その根幹をなす市税では、総額で177億5千万円余、前年度当初予算額に対し、金額にして3億4千万円余、率にして1.9%の減を見込みました。このうち個人市民税は、48億8千万円余、前年度当初予算額に対し、金額にして3億7千万円余、率にして8.4%の増であります。これは、前年度において定額減税による減額があったためであります。また、法人市民税は、20億9千万円余、前年度当初予算額に対し、金額にして6億9

千万円余、率にして24.8%の減を見込んでおります。これは、臨海部大手企業による収益減を見込むものであります。

また、固定資産税は、88億1千万円余、前年度当初予算額に対し、金額にして6千万円余、率にして0.8%の減を見込んでおります。これは、円安等の影響により新たな設備投資による償却資産の増加が見込めないことによるものであります。

なお、事業推進のための財源不足につきましては、財政調整基金を始めとする基金の活用により対応してまいりますが、財政調整基金の繰入れ額は、20億円に届く程の額を計上せざるを得ない厳しい予算編成となりました。この繰入れ額は、近年の物価高騰や人件費の増加を要因とするところが大きく、リーマンショックによる景気悪化時や新型コロナウイルス感染症拡大による非常時に匹敵するものであります。今後、市税等の一般財源収入の伸びが見込めなければ、財源を財政調整基金からの繰入れに依存する予算編成となることも想定されるため、全職員が強い危機感を持って財政運営に取り組んでいかなければなりません。このためにも、市民負担と行政サービス、機構改革により新設される財政課施設マネジメント係による公共施設の在り方、各種事業の見直しを行い、これまで以上に選択と集中による予算編成を行い、持続可能な財政運営に努めてまいります。

## **主要な施策**

次に、歳出面等につきまして、重点政策や第6次碧南市総合計画の施策の大綱に沿って、主要な施策を中心に申し上げます。

始めに重点政策として、

1つ目は、「夢や希望が描ける教育」でございます。

誰もが夢や希望を描けるための金融経済教室を、出前講座の1つとして行っています。また、【碧南版】大学等奨学金返金支援制度の創設のため、愛知県が実施しているあいち奨学金返還支援の取り組みを研究してまいります。

2つ目は、「喜びを感じる子育て」でございます。

何らかの理由で学校に通えない子を含め、一緒に楽しく、おいしい給食を食べることができるよう、また、物価高騰に対する子育て世帯を支援するため、国の地方創生臨時交付金を活用し、令和7年度1学期分の幼稚園及び小中学校並びに4月から7月分の保育園等の給食費の無償化を行ってまいります。

次に、低年齢児の保育ニーズ及び施設の老朽化への対応として、築山保育園と大浜幼稚園を統合し、伊勢土地区画整理地内の集合保留地における民間の認定こども園の整備に向け、事業者を公募してまいります。また、第2へきなんこども園の建て替えに対して補助を行ってまいります。

次に、令和7年10月から、0歳から2歳児の保育料について、保護者が養育する18歳未満の第3子に対する保育料の無償化に加え、第2子に対し、所得に応じた保育料の無償化又は軽減を愛知県の補助制度を活用し、行ってまいります。また、3歳未満児の保育ニーズ拡大に速やかに対応するため、令和7年4月より小規模保育所が開設予定されています。加えて、保育士確保のため、引き続き、保育士確保対策支援事業を実施し民間保育園等を支援してまいります。

次に、妊娠から出産、子育ての期間に寄り添い支援する「伴走型相談支援」と妊婦及び出生した子どもを対象として応援給付金を支給する「経済的支援」を一体的に実施し、切れ目のない子育て支援を行ってまいります。また、不妊治療費助成や産後ケア事業を実施し、少子化対策や出産前後の母子支援を行い、子育てしやすい環境を整備してまいります。

次に、令和7年4月よりこども家庭センターを設置し、現在のこども課の子ども家庭総合支援拠点と健康課の子育て世代包括支援センターの機能を維持したうえで、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへの一体的な総合支援を行ってまいります。

次に、令和6年10月より高校生世代までの医療費完全無償化を行いました。令和7年度も引き続き行い、子どもの健康保持に寄与してまいります。

3つ目は、「**チャレンジできる経済・産業**」でございます。

地元事業者が活躍できる取り組みとして、北部産業地へ進出する企業への補助や中小企業へ投資を促し、市内企業の活性化に努めます。また、週休2日制工事を推奨し、建設業の担い手確保を支援してまいります。

次に、認定農業者等が行う先進的農業経営設備の導入等、自らの農業経営の改善に資する取り組みに要する経費の一部を補助し、地域農業の担い手となる農業者の確保及び育成を図ってまいります。

次に、3大花まつりを実施するとともに、その他の観光事業を展開し、市内外からの観光客の誘致を図るとともに、大浜地区のてらまちを中心とした賑わいづくりを支援してまいります。

次に、市内商工業の振興、地域経済の活性化及び賑わいの創出を図るため、新たに起業する方への支援として、初期投資の一部を引き続き補助してまいります。

次に、カーボンニュートラルの推進として、市内中小企業者が実施する省エネルギー設備、再生可能エネルギー設備の導入等に対して補助を行い、中小企業者のカーボンニュートラルへの取り組みを促してまいります。市民向けとしては、既存住宅をZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）仕様に改修し、生活における省エネルギー化を促すため、新たに住宅省エネ改修補助事業を行ってまいります。また、引き続き、再生可能エネルギーの利用促進を図るためスマートハウス設備設置事業やゼロカーボンドライブの普及促進を図る次世代自動車購入費補助事業を行ってまいります。さらに、公共施設等の照明のLED化を引き続き進めるなど、ゼロカーボンシティ宣言に基づいた取り組みを継続してまいります。

4つ目は、「**安心、安全な医療・福祉・介護**」でございます。

住み慣れた地域で支え合える仕組みづくりのため、市民活動センターを通じた市民活動、ボランティア活動の支援及び推進を図ってまいります。

次に、フレイル対策等、健康寿命の延伸施策の拡充といたしまして、地域包括支援センターを通じて高齢者等の身近な相談窓口として、引き続き、高齢者

支援を図るとともに、保健事業と介護予防の一体的実施事業を行ってまいります。また、引き続き、筋トレルーム60を活用した高齢者の健康維持に取り組むとともに、すこやか健康教室やおたっしや大学を開催し、介護予防普及啓発や健康教育を行ってまいります。

5つ目は、「**命が守られる防災・減災**」でございます。

災害関連死を防ぐため避難所の環境改善を図るとともに、防災力向上のため、民間事業者との災害協定締結を推進してまいります。また、新たに地域防災に継続的に取り組む防災リーダーの育成を図るため、防災士の資格取得に要する費用の一部を補助してまいります。

次に、避難所資機材倉庫等に備蓄されている物品等の充実を図り、大規模災害への備えを着実に強化してまいります。さらに、災害備蓄品を保管するスペースを拡充するため、新たに防災倉庫を旭地区に建築するための防災倉庫設計業務委託を行ってまいります。

次に、各公民館に引き続き、小中学校の屋内に設置しているAEDを屋外に移設し、休校時等においても利用できる体制をとってまいります。また、大規模災害時における迅速な被害認定調査の実施、罹災証明書の発行及び応急危険度判定のため、新たに被災者生活再建支援システムを導入いたします。

6つ目は、「**誰1人取り残さない持続可能なまちづくり**」でございます。

若者との対話や事業への参画の推進のため、HEXPO STAFF活動を通じ、各種イベントを企画し、青年層の活動の活発化と友好の輪を広げてまいります。

次に、手話等を用いた障がい者とのコミュニケーションづくりの推進のため、引き続き、手話通訳者の設置、派遣及び養成並びに要約筆記者派遣を実施し、誰もがコミュニケーションを取ることのできる取り組みを行ってまいります。

7つ目は、「**未来へつなげる行財政改革**」でございます。

D Xを活用した行政運営の効率化のため、施設や各課窓口での使用料・手数料等の支払いに加え、電子申請においてもキャッシュレス決済を広げてまいります。また、引き続き、住民票等について、コンビニ交付サービスや窓口受付システムを利用した交付を行ってまいります。また、市民がデジタル化に向け機器の操作方法を学ぶ教室を開催し、電子申請等の普及に努めてまいります。

次に、新たな財源の確保や使用料・手数料を始めとする受益者負担を見直すとともに、既存事業及び各種補助金の見直しを行い経常経費の削減を進めてまいります。

8つ目は、「**今ある課題への取り組み**」でございます。

少子化対策のため、結婚した世帯の新生活を経済的に支援する結婚新生活支援事業を新規に行います。

次に、車を利用できない方の移動手段を確保するため、高齢者や障がい者の外出手段の確保を目的としたタクシー料金の助成を継続し、社会参加の促進や家族の介護負担の軽減を図ってまいります。また、公共交通では、高齢者や障がい者等の交通弱者だけでなく、広く市民の交通手段として、引き続き、くるくるバスを運行してまいります。

次に、クリーンセンター衣浦の老朽化及び広域化の延伸に伴う、今後の廃棄物処理施設のあり方について更に検討を進めるため、廃棄物処理方式等の調査検討業務委託を行ってまいります。

次に、老朽化したあおいパークを利用者サービスの向上及び地域活性化を図るため、あおいパーク改修の設計業務委託を行ってまいります。

次に、名鉄北新川駅周辺地区において、駅を中心とした便利で快適に暮らせる市街地形成の推進のための基本構想を策定してまいります。

続いて、重点政策以外で、第6次碧南市総合計画の施策の大綱に沿った主要な事業を申し上げます。

「**安心安全で住みやすいまち**」として、

下水道事業につきましては、令和8年度の市街化区域の公共下水道の完了に

向けて整備を進め、効率的な経営に努めてまいります。また、近年の台風の大型化や集中豪雨による浸水対策のため、雨水排水施設の整備を進めてまいります。

次に、公園事業につきましては、施設の適切な維持管理に努めてまいります。また、利用者の安全な環境整備及び施設等の長寿命化を図るため、計画的に施設の更新等を進めてまいります。

### 「人と文化が育ち・支え合うまち」として、

学校施設では、大浜、鷺塚、西端小学校のトイレ改修事業を行ってまいります。また、快適な教育環境を確保するとともに、大規模災害時の避難所としての機能強化のため、新川、南中学校屋内運動場に空調設備を設置する設計業務委託を行ってまいります。

次に、水族館では、「新しい人の流れづくり」を意識し、2階展示エリアの改修を行ってまいります。

次に、藤井達吉現代美術館では、橋口五葉のデザイン世界展や川端龍子展等の開催を予定しております。

次に、第20回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）のビーチバレーボール競技が碧南緑地で開催される予定の前年にあたり、大会の円滑な運営準備、機運の醸成、スポーツの振興や賑わいづくりを行ってまいります。

次に、病院事業につきましては、物価高騰の影響に加え処遇改善等に伴う人件費の増加により急激に各経費が増加し病院経営を圧迫しております。このような状況の中で安定した経営を維持し良質な医療の提供を続けるため、診療科単位での課題の洗い出しや達成目標の設定による成果の見える化を図るとともに、人員配置やコスト管理についてもゼロベースで見直しを行ってまいります。また、経営強化プランに掲げたアクションプランを推進し、診療体制の充実やスタッフの教育を通し患者サービスの向上を図り、公立病院としての役割を維持するとともに市民に必要とされる市民病院を目指してまいります。

### 「都市の発展に向けた活力を生み出すまち」として、

都市基盤整備に関する施策では、（都）碧南駅前線の整備を行い、道路景観等地域の魅力を高めるとともに利便性の向上を図ってまいります。また、長田橋の改修や潮見亥新田線を始めとする主要道路の舗装改良工事を継続し、道路の安全性の確保や耐久性の向上を図り、災害に強いまちづくりを目指してまいります。

次に、住宅地の整備や密集市街地の改善対策として狭あい道路の拡幅整備や空き家の除却、耐震改修等にかかる支援を継続し、安全な住宅市街地の形成に努めてまいります。その他、鴻島地区において、市街地整備を促進し良好な住宅地の確保を図るため、土地区画整理事業の立ち上げに向けた支援を継続してまいります。

### 「ともに創る自立したまち」として、

ふるさと応援寄附金制度の充実強化では、全国でふるさと納税に力を入れる自治体が増え自治体間の競争は激しさを増していますが、継続的に市内地場産品を全国にPRする機会を創出してまいります。また、寄附者に対し、本市の魅力や考え方、寄附金の使途等を掲載したPRチラシを発送し、寄附をきっかけとした交流人口や関係人口の増加を期待するとともに、将来的には本市への移住・定住促進に繋がるよう、引き続きお礼の品を通じて碧南市を全国に発信してまいります。

次に、碧南の夏を熱く盛り上げる市民まつり「元気ッス！へきなん」を、元気ッス！へきなん市民会議が中心となって、個人・団体・企業との連携により開催します。また、冬の街に明るさと活気をもたらす「きらきらウォーク」を実施するため、有志市民の実行委員会へ補助を行ってまいります。

以上、令和7年度の主な施策につきまして申し述べました。

### **最後に**

近年の物価高騰や人件費の高騰は、本市の財政運営に大きな影響を及ぼしています。また、防災対策、少子化対策、高齢者対策の重要課題も重くのしか

かっています。

昭和32年に衣浦港が重要港湾に指定されたこともあり、碧南市は比較的裕福な自治体となり、令和7年には市制77周年を迎えますが、時代の変化とともに行財政運営は大きな転換期に直面しています。このような状況をチャンスに変え、今までの固定概念や既成概念にとらわれず、市民の皆様や市議会と対話をしながら、碧南市の課題を解決し、発展させていきたいと考えております。

「新たな力とともに創る 笑顔と元気のみなとまち へきなん」の実現に向け、市議会並びに市民の皆様の一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。私私の施政方針といたします。